

日本の死刑制度について考える懇話会

死刑をめぐる国際状況

2024年2月29日

笹倉香奈（甲南大学）

TABLE OF CONTENTS

概況
ヨーロッパ
アジア
アメリカ
おわりに

概況

1947年の段階で全面的な死刑廃止国は8カ国

1977年 16カ国

1988年 35カ国

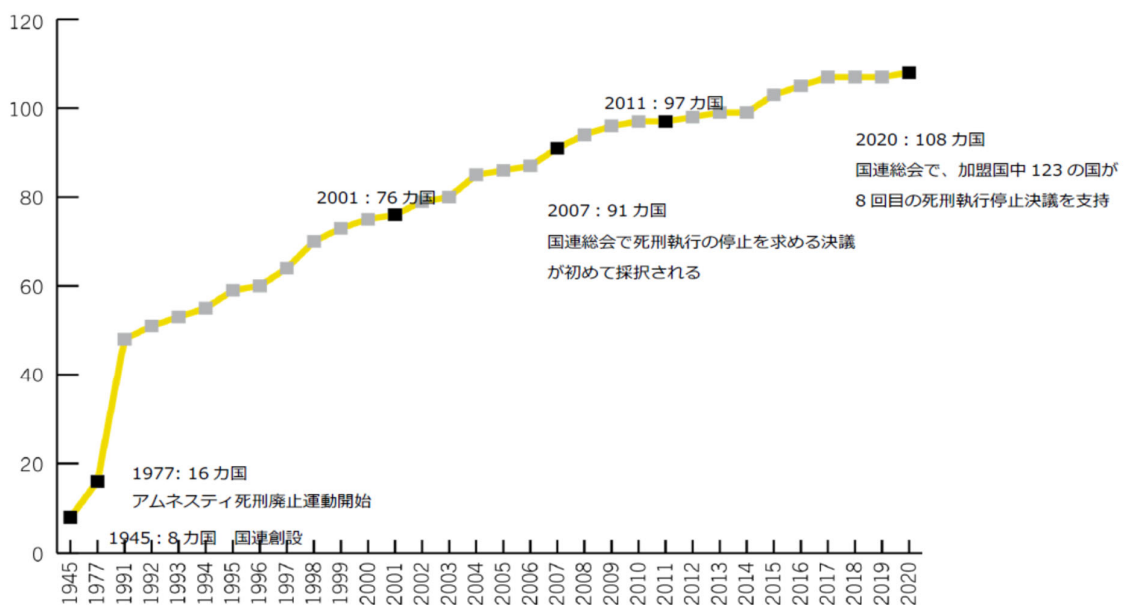
2001年 76カ国

2011年 96カ国

2022年 112カ国
(事実上の廃止国等を含めると144カ国)

概況

死刑廃止国の推移



アムネスティ・インターナショナル「2020年の死刑判決と死刑執行」（2021年4月公表）より

https://www.amnesty.or.jp/library/report/pdf/statistics_DP_20200421.pdf

* 2022年以降の報告書にグラフがないため、過年度のものを使っています

概況

法律上・事実上の廃止国数: 144 (2021年: 144)

すべての犯罪に対して廃止 : 112 (108)

通常犯罪のみ廃止¹ : 9 (8)

事実上の廃止² : 23 (28)

1 通常犯罪のみ廃止 : 軍法下の犯罪や特異な状況における犯罪のような例外的な犯罪にのみ、法律で死刑を規定

2 死刑制度を存置しているが、過去10年間に執行がなく、死刑執行をしない政策・確立した慣例を持っていると思われる国

存置国数: 55 (55)

●死刑執行件数 : 883 件以上 (2021年 : 579 件以上) 53%増加
※数千件と言われる中国を含め、十分な情報を得ていない国に関しては2件とカウント

●死刑を執行した国の数 : 20 カ国 (2021年 : 18 カ国)
上位 5 カ国 : 中国、イラン、サウジアラビア、エジプト、米国

●死刑判決件数 : 2,016 件以上 (2021年 : 2,052人以上)

●死刑囚の人数 : 28,282人以上 (2021年 : 28,670人以上)

アムネスティ・インターナショナル「2022年の死刑判決と死刑執行」(2023年5月公表)より https://www.amnesty.or.jp/library/report/pdf/statistics_DP_2022.pdf

概況

死刑執行国

2022年に死刑を執行した国と件数



アフガニスタン〔+〕、バングラデシュ〔4〕、ベラルーシ〔1〕、中国〔+〕、エジプト〔24〕、イラン〔576+〕、イラク〔11+〕、日本〔1〕、クウェート〔7〕、ミャンマー〔4〕、北朝鮮〔+〕、パレスチナ国〔5〕、サウジアラビア〔196〕、シンガポール〔11〕、ソマリア〔6+〕、南スーダン〔5+〕、シリア〔+〕、米国〔18〕、ベトナム〔+〕、イエメン〔4+〕

アムネスティ・インターナショナル「2022年の死刑判決と死刑執行」(2023年5月公表)より

https://www.amnesty.or.jp/library/report/pdf/statistics_DP_2022.pdf

日本とアメリカを除く執行国はどのような国々か？

ヨーロッパにおける死刑廃止

1983年 欧州評議会による欧州人権条約・第6議定書採択
(死刑の廃止に関する人権および基本的自由の保護のための条約についての第6議定書)

第1条 〈死刑の廃止〉

死刑は、廃止される。何人も死刑を宣告されまたは執行されない。

1989年 欧州評議会の加盟条件として、死刑が廃止されることを課す

2002年 第13議定書採択 (あらゆる状況の下での死刑の廃止に関する人権および基本的自由の保護のための条約についての第13議定書)

⇒ 戦時においてなされた行為についても死刑廃止

⇒ 世界的な死刑廃止のための様々な取り組み

ヨーロッパにおける死刑廃止

ドイツ (西ドイツ) 1949年に死刑廃止 ← ナチス時代の死刑制度の濫用への反省から
ドイツ (東ドイツ) 1987年に死刑廃止

フランス 1981年に死刑廃止
← バタンデール司法大臣をはじめとする政治家の強い意思による

イギリス 1965年に5年間のモラトリアムを定めた法律が制定
1969年 謀殺罪に関する死刑が廃止 (以降、執行なし)
1998年 軍法関連の犯罪含め、死刑が全面的に廃止
← エバンス事件などの誤判・冤罪事件への反省から

ロシア 1996年 欧州評議会に加盟、死刑執行を停止 (事実上廃止)

⇒ 現在、ヨーロッパでは、ベラルーシのみが死刑を存置

アジアにおける死刑

韓国 1997年以降、死刑執行なし（事実上の廃止国）

台湾 死刑存置・執行するが、長期的には死刑を段階的に廃止する計画あり

マレーシア 2018年に死刑執行の停止
2023年に義務的死刑制度の廃止
現在、過去の事件の量刑見直しが行われている

カンボジア、ネパール、東ティモールなどでは 死刑廃止

⇔ これに対して、中国や北朝鮮では、死刑執行数さえ不明

死刑執行国

2022年に死刑を執行した国と件数



アフガニスタン〔+〕、バングラデシュ〔4〕、ベラルーシ〔1〕、中国〔+〕、エジプト〔24〕、イラン〔576+〕、イラク〔11+〕、日本〔1〕、クウェート〔7〕、ミャンマー〔4〕、北朝鮮〔+〕、パレスチナ国〔5〕、サウジアラビア〔196〕、シンガポール〔11〕、ソマリア〔6+〕、南スーダン〔5+〕、シリア〔+〕、米国〔18〕、ベトナム〔+〕、イエメン〔4+〕

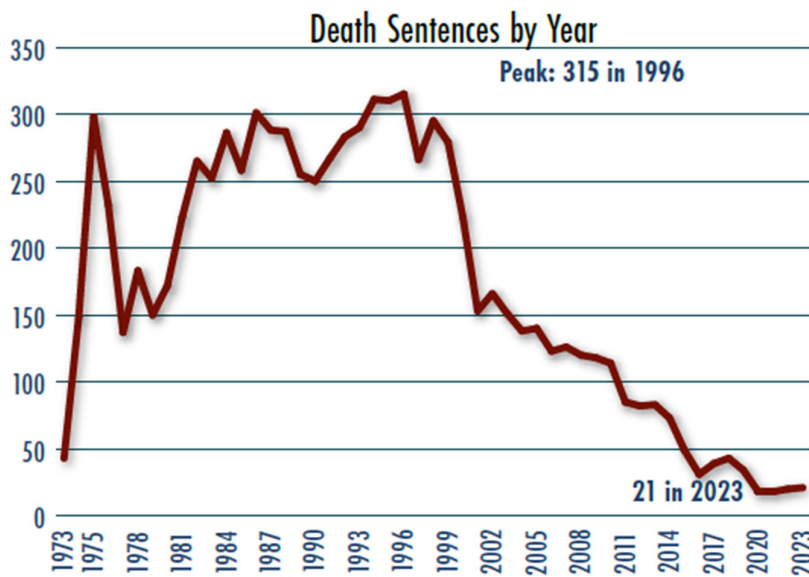
アムネスティ・インターナショナル「2022年の死刑判決と死刑執行」（2023年5月公表）より

https://www.amnesty.or.jp/library/report/pdf/statistics_DP_2022.pdf

では、アメリカでは？

アメリカにおける死刑

死刑判決数

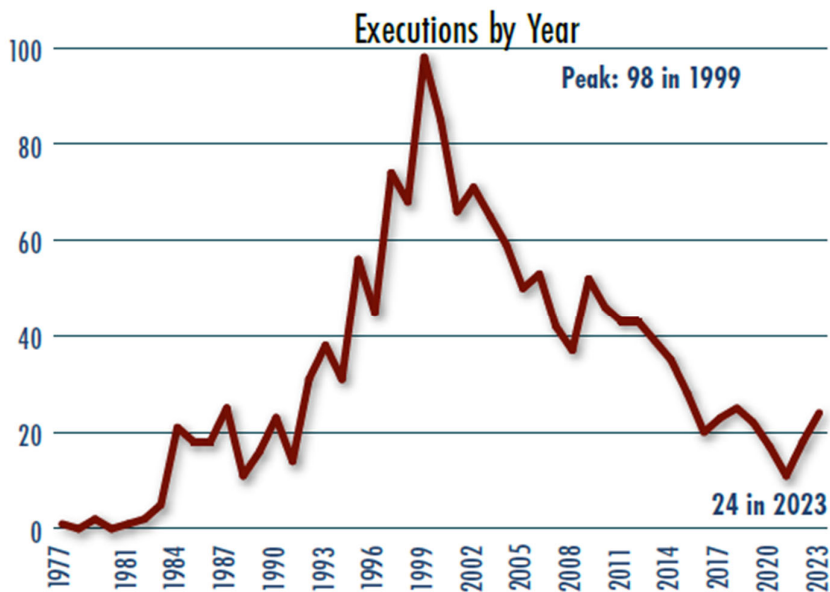


1996年	315人
2010年	114人
2015年	49人
2020年	18人
2023年	21人

[The Death Penalty in 2023: Year End Report | Death Penalty Information Center](https://deathpenaltyinfo.org/facts-and-research/dpic-reports/dpic-year-end-reports/the-death-penalty-in-2023-year-end-report)
<https://deathpenaltyinfo.org/facts-and-research/dpic-reports/dpic-year-end-reports/the-death-penalty-in-2023-year-end-report>

アメリカにおける死刑

死刑執行数



1999年	98人
2010年	46人
2015年	28人
2020年	17人
2023年	24人

[The Death Penalty in 2023: Year End Report | Death Penalty Information Center](https://deathpenaltyinfo.org/facts-and-research/dpic-reports/dpic-year-end-reports/the-death-penalty-in-2023-year-end-report)
<https://deathpenaltyinfo.org/facts-and-research/dpic-reports/dpic-year-end-reports/the-death-penalty-in-2023-year-end-report>

アメリカにおける死刑

廃止州は増加 ～ 50州中23州(+コロンビア特別区)

州知事によるモラトリアム(死刑執行停止)宣言 = 2011年以降に8州(現在6州)

オレゴン、コロラド、ワシントン、ペンシルバニア、カリフォルニア、アリゾナ、オハイオ、テネシー

* ワシントン州では2018年に最高裁が違憲判決(2023年に法律上も廃止)

コロラド州は2019年死刑制度を廃止

* さらに、連邦政府も2021年に執行停止宣言

* オレゴン州は17名の死刑確定者全員を終身刑に減刑(2022年12月)

* アリゾナ州は2023年3月に知事が死刑をしないと宣言

* オハイオ州では死刑制度の全面的見直し(2020年以降)

* テネシー州でも死刑執行プロトコルの見直しが進行中(2022年以降)

つまり、死刑の法律上の廃止州 + 執行停止州
= 50州のうち29州(半数以上)

アメリカにおける死刑

存置州であっても、実際に執行している州はごく一部にすぎない

アメリカ50州のうち、

過去10年間死刑執行のない州〔廃止州含む〕 37州

過去5年間死刑執行のない州〔廃止州含む〕 39州

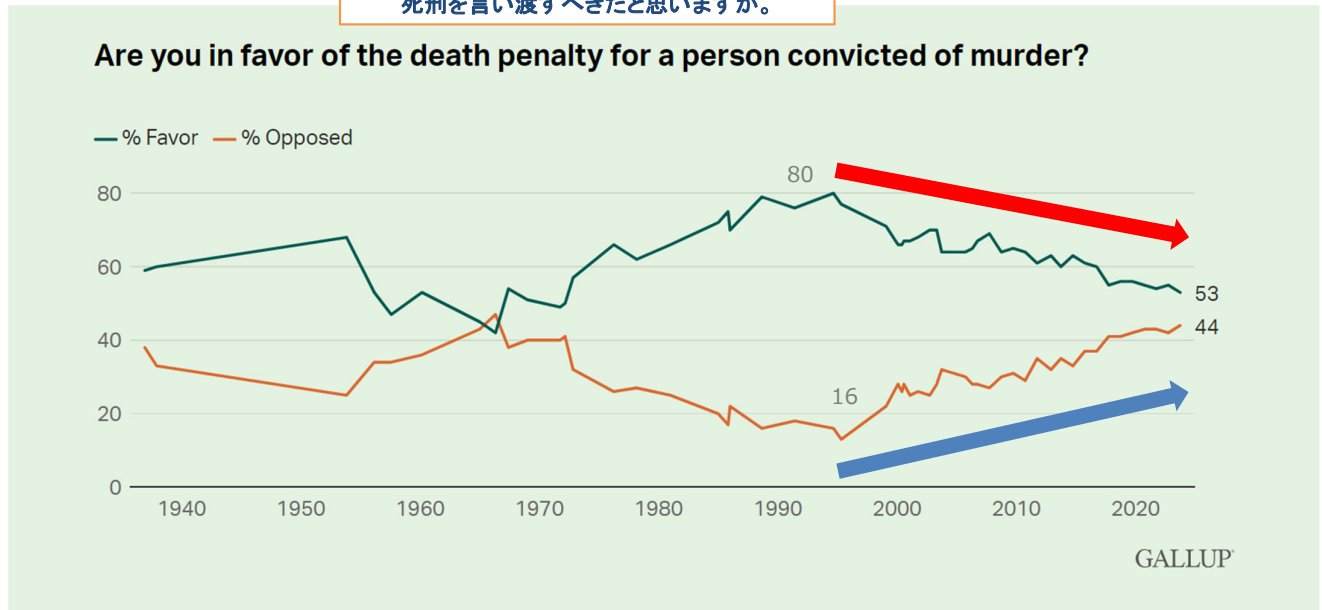
2022年に死刑を執行した州 6州のみ
(テキサス、オクラホマ、ミズーリ、アラバマ、ミシシッピ、アリゾナ)

2023年に死刑を執行した州 5州のみ
(アラバマ、フロリダ、ミズーリ、オクラホマ、テキサス)

アメリカにおける死刑

世論

殺人罪で有罪判決を言い渡された人に対して、死刑を言い渡すべきだと思いますか。



Gallup, Death Penalty | Gallup Historical Trends (2023年10月)

<https://news.gallup.com/poll/1606/Death-Penalty.aspx>

アメリカにおける死刑

なぜアメリカでは死刑制度が衰退しつつあるのか？

いくつかの複合的な要因

- 冤罪の「発見」： これまでに196件の死刑確定者の雪冤
[Innocence Database | Death Penalty Information Center](#)
- 死刑事件に対する手続保障： スーパー・デュー・プロセス（超適正手続）
- コストの増大
- 執行の「失敗」
- 人種差別的適用： 有色人種がより死刑を言い渡され、執行されやすいという傾向

⇒ 死刑をめぐる議論・世論の変化
保守派の中でも死刑に反対する者が増加

おわりに

世界的には死刑が衰退しているのは明らか

日本がどのような国々と同じ立場にあるのかは認識すべき

同じような立場にあるアメリカでも、様々な動きがある

少なくとも、理性的な議論と現状の検証は不可欠



ご清聴ありがとうございました